

市職労退職者の会

だより
No.55号
2020. 12. 25

公衆衛生と保健・福祉行政の強化
と拡充、安心できる被災者支援を

コロナ危機で崩壊寸前の医療と福祉

世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言して僅か1年余りですが、世界の感染者数は7348万人余、死者が164万人余と歴史上かつて人類が経験したことのないスピードで感染者数と地域に広がっています。

増え続けています。

今年3月の感染拡大時から言われ続けてきた「行革」による保健所（公衆衛生）や医療機関等の統廃合による脆弱な体制が、PCR検査の遅れと相談・調査・検査機能を麻痺させ、医療崩壊の危機に追い込まれる事態となつて国民の不安もピークに達しています。

しかも、民間依存の介護施設や保育園での集団感染が次々に発生して施設職員の退職等も相次ぎ、劣悪な労働条件から新たな雇用も困難で人員不足から休業・廃業・倒産も広がっています。また小中学校でも感染予防のため分散登校の教育やリモート教育が行われ、生徒間での学習の遅れや格差も広がり重大な教育問題となつています。コロナ危機は日本の医療・福祉・教育制度について大幅な改善・改革の必要を明らかにしています。

開発の限界と地球環境

国連開発計画（UNDP）は2020年版報告書で、人間の活動が地

球環境にかける負荷が『人類の進歩を行き詰まらせる危険がある』と警告しています。毎年、世界各地で大規模な自然災害が多発し温暖化等による地球環境の危機が叫ばれ、CO2排出量の削減など持続可能な経済政策が求められています。自然との共生をスローガンに脱成長を掲げて福祉や教育・医療など人々の命と暮らしを守り、自然環境を維持・保全する政策への転換が強く求められています。

ノーベル平和賞と核兵器禁止条約

今年のノーベル平和賞は、世界の貧困地域で食糧支援を行っているWFP（世界食糧計画）に与えられました。また、国連では来年1月から核兵器禁止条約（開発・実験・生産・保有・使用を許さず、核による威嚇も禁止する）が発効となります。（米国の「核の傘」に入る日本政府は批准に反対しています）パンデミックは戦争や災害によつて苦しむ人々に追い打ちを掛ける状況にあります。こうした世界の動きは確かな希望の光にもなっています。

ありがとうの感謝のメールを送ろう

年末・年始も新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されています。自らの感染リスクと家族への不安も抱えながら、患者の命と健康を守るために使命感を持って勤務される多くの医療関係者、保健所職員、介護職員の皆さんに「ありがとう、ご苦勞様です」の感謝のメールを送



10月24日（土）に久留米の高良山に登りました。長い急な石段を9人で頑張つて登りました。

ります。

山好き同好会の報告

秋の「高良山」と

「十坊山」を満喫したよ

高良山には10月24日(土)午前10時にJR久留米大学駅前で待ち合わせ9名の参加で「九州オルレ久留米コース」を歩きました。途中の山道には高良大社にゆかりの史跡が散在し、休憩も兼ねて見物しながら長い急な石段を汗を拭きながら登って奥宮にお参りし、高良山の山頂に登ったあとツツジ公園で12時に昼食、下りは高良大社に参拝して約4時間の行程を無事に登りました。

十坊山には11月14日(土)午前9時半過ぎにJR福吉駅前で待ち合わせ8名の参加で実施しました。秋の晴天の日で風も無く日差しが暖かく感じられる一日でした。標高535mの山頂までは、登山口からミカン畑の横を抜けて山道に入ると、何度も急な山道と岩場の切り通しを登りました。台風の影響からか途中の山道には倒木や崖崩れの状態など荒れた状況がありました。それでも登山者も多いようで山頂まで何人も出会って挨拶しました。山頂には若い人も多く登っていて、自粛生活から逃れて山の自然を満喫している様でした。山頂には12時過ぎに到着して気持ち良く

昼食を済ませて、巨岩に登り湾曲した糸島の海がキラキラ光って美しい風景が眺めました。帰りは登山口の近くにある温泉で汗を流して午後3時半過ぎに帰りの電車に乗りました。

小旅クラブの報告

筑豊の中心「直方市」を散策

「小旅クラブ」は11月20日(金)に12名の参加で直方市に小旅行しました。博多駅に9時に集合して明治から昭和30年代まで筑豊の各地から石炭を列車で若松まで運搬するための中継地として栄えた直方市の歴史建造物などを見て回る小旅を行いました。

100mはあろうかと思うアーケード街の古町商店街は、今はシャッターの降ろされた店が多く、人通りも少なくなっていました。しかし、通りに面した建物の中には、最盛期を偲ばせる立派な旅館、病院、商店などが多



く見られ、今は市が管理する私立美術館として転用されているもの、地域町起こしにとりくむ一般社団法人が事務所兼コミュニティスペースとして利用し、地域の方々といベント企画するなどの話を聞くことが出来ました。

また、直方市石炭記念館では案内人の方から石炭採掘の歴史、筑豊地域における石炭埋蔵と日本の明治近代化に果たした役割などが関係する人物を含めて詳しく説明を受けました。また、世界文化遺産にも登録された山本作兵衛さんの原画も展示されており、過酷な炭鉱労働の様子も聞くことが出来ました。

第12回退職者の会総会の中止と

役員任期の延長について

市職労退職者の会は総会を毎年一月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から第12回総会の開催を中止し、文書にて報告・提案とします。総会では役員改選の予定でしたが、改選が難しいと判断し役員の任期を一年間延長することとします。

会長 岡田 洋

副会長 大野節子 近藤康秀

事務局 横多文男

会計 田中賢吾

幹事 阿志賀一夫 飯尾哲 篠崎順子

谷口壮一郎 長峰純治 林良一

原井恵美子 平嶋文憲 船越伸登志

経過報告および次期方針は別紙の通りです。ご意見、要望等は組合書記局又は事務局までお寄せください。

市職労書記局 092-711-4940

2020年度

福岡市職員労働組合退職者の会

活動経過報告及び

新年度活動方針（案）

2020年活動報告について

2020年は、2月以降の新型コロナウイルスによるパンデミック（世界的感染拡大）で、日常生活は『3密回避』が求められる様々に活動が制限されました。

市職労退職者の会活動でも「緊急事態宣言」を受けて役員会の開催が2月以降中断を余儀なくされ、宣言が解除された後の7月21日に緊急役員会を開催して今後の対応などについて協議しました。その結果、毎年多くの会員の皆様に参加いただいている歴史散歩、バスハイク、セカンドライフ・サロンなどの企画は中止又は延期せざるを得ない状況であることと話し合い、今後の感染状況も見ながら検討することになりました。

その後、感染拡大状況が落ち着きを見せた10月4日に拡大三役会議を開いて、他団体等の活動状況なども検討した結果、総会方針で確認した少人数による同好会・クラブ活動を中心に少しずつ活動を再開する方向で企画していくことを決めました。そして「低山登り」や「小旅クラブ」から再開してきましたが、その内容は別紙の『たより55号』での報告の通りです。

本来であれば、新年1月14日に第12回退職者の会総会を開く予定でしたが、大人数での

会議・宴会を開くは出来なくなりましたので文書による報告・提案とします。

第11回総会及び懇親会

日時 1月18日
会場 天神平和楼
参加 42名（来賓含む）

役員会の開催状況

第8回役員会 日時 1月7日

内容 当面の活動の具体化について

参加12名

緊急役員会 日時 7月21日

内容 コロナ禍の活動について

参加10名

臨時拡大三役会議 日時 10月4日

内容 活動の再開について

参加3役十会計・企画担当

サークル・同好会の活動について

山歩き同好会

2月29日（土）

立花山登山（4名）

小旅クラブ

2月15日（土）

城島蔵開き（7名）

新年度活動方針について

新年度の活動につきましては、現在も新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況でもあり、当面はサークル・同好会による少人数の自主的活動の範囲に止めたいと考えています。

現在、活動を再開しているサークルは、「山

登り同好会」と「小旅クラブ」の2サークルです。基本的に「3密」にならない条件が可能な活動を検討して企画したいと考えています。

▽今後の具体的計画

山歩き同好会

宮地山（在自山登山（250m）

日時 2月27日（土） 9時半集合

集合 福岡駅前

天拝山（奥天拝山（296m）

日時 3月27日（土） 9時半集合

集合 西鉄二日市駅前

城山登山（山開き）（300m）

日時 4月29日（祝日） 9時半集合

集合 JR福教大駅前

*雨天中止の連絡はメールにてします。参加を希望される方は、書記局又は事務局まで連絡ください。

小旅クラブ（企画案）

大牟田市（近代化遺産の見学）

日時 4月初旬

若松の街歩き（直方のつづきです）

日時 5月連休明け

*詳細は日程の決まりしだい「たより」にてお知らせします。

▽バスハイクの計画について

例年11月に予定していましたがバスハイクにつきましては、来々年8月以降の感染対策（予防注射等）の進捗状況などをみながら検討します。

▽その他

当面、退職者の会全体としての取り組みが

困難です。会員の皆さままで会の取組みについて御意見・ご要望があれば書記局又は事務局までお寄せください。

2020年度収支報告

第11回総会収支(平和楼他)

| | | |
|----|------|-----------|
| 収入 | 参加費 | 143,500 |
| | 内訳 | 3,500×41人 |
| | 組合補助 | 93,500円 |
| 支出 | | 237,000円 |

| | |
|----|----------|
| 支払 | 231,000円 |
| 謝礼 | 6,000円 |

(2名の交通費として)

役員会運営費

| | |
|------|---------|
| 事務局費 | 30,000円 |
| 会議費 | 12,000円 |

会費(通信費) 収支報告

| | |
|---------|----------|
| ①前年度繰越金 | 301,861円 |
| ②本年度収入金 | 21,000円 |
| ③本年度支出金 | 74,844円 |

退職者の会だより52号(1月31日)
24,444円

退職者の会だより53号(3月25日)
26,292円

退職者の会だより54号(10月15日)
24,108円

| | |
|----------------|----------|
| ④次年度繰越金(①+②-③) | 248,017円 |
|----------------|----------|